

全館入場者数	開館日数
90,910人	306日 ※9月18日～9月19日(2日間)は台風のため臨時休館

ア 美術館の管理運営

1 管理

(1)施設管理[ハード]

種別	内容	件数
ホームギャラリー	開架書籍の整理・問い合わせへの対応(レファレンス)	-
キッズファクトリー、子育てひろば	子育てひろばの運営協力	-
花壇(正面玄関外)	苗の植え替え、明後日朝顔プロジェクト等	通年
施設貸出(予約・設備準備・支払等) ※収益事業再掲	アートロフト	128件
	会議研修室	222件
施設・設備の管理、点検、修繕等(セキュリティ、音響、照明等設備管理、清掃等)	設備修繕	14件

(2)施設管理[ソフト]

種別	内容	件数
来館者サービス	・来館者対応・警備、電話・メール等への問い合わせ対応 ・朝礼(毎日)、職員ミーティング(週1)、館内スタッフ(月1)等による情報共有 ・入場者・入場料管理	-
ニーズ調査	アンケート実施・集計・回答等	214件
新型コロナウイルス感染拡大防止対策	・行政との連絡調整 ・実施予定の事業や館内の施設などのリスクの検証 ・定期的に館内を消毒・入場者の検温、空気清浄機の設置 ・熊本県のリスクレベルに対応した入場数及び実施方法の検証	-

(3)施設管理[美術館IPM]

種別	内容	件数
ミュージアムIPM	・展示室、収蔵庫、一時保管庫、付室へのトラップ設置モニタリング ・収蔵庫、一時保管庫、付室、搬入口、ホームギャラリー本棚のクリーニング(掃除機、ドライワイパー使用) ・収蔵庫、一時保管庫、美術館入口、展示室入口のアナログ温湿度調査器による計測 ・展示室(G I、G II)の展示期間中のデジタルロガー計測 ・館内の飲食についてのマニュアル作成	通年

2 運営

(1)外部審議会

種別	内容	開催日
外部審議会	公開座談会ご用聞き1周年記念イベント	12月10日
	「まちづくり」についてのディスカッション	3月28日

(2)職員研修

種別	主催	内容	開催日	受講者
美術館・博物館 de 園芸療法	九州産業大学美術館 熊本市現代美術館	博物館を活用した「健康寿命」増進プログラム開発の企画立案・実施運営の方法を学ぶ研修会。園芸療法に特化した内容。	8月11日	岩崎千夏 (副館長) 岩崎美千子 (学芸員)
文化庁現代アートワークショップ	日本現代アート委員会[文化庁アートプラットフォーム事業]	現代アートに関わる国内外の専門家相互の国際的ネットワーク構築のためのワークショップ。キュレーター、研究者、アーティストなどによるセッションを聴講し、芸術祭の視察、交流会に参加。	9月23-25日	佐々木玄太郎 (学芸員)
みんなで語ろう!「その時、あなたはどのようにする?」～防災ゲーム クロスロード～	熊本大学くまもと水循環・減災教育センターデジタルアーカイブ室、熊本市南区役所幸田まちづくりセンター	「防災ゲーム クロスロード」体験を通じて、これまで経験した熊本地震などの災害を振り返るとともに、ゲームを通じて、今後の災害への備えについてみんで考え共有する。	10月7日	富澤治子 (学芸員)

(2)職員研修(つづき)

種別	主催	内容	開催日	受講者
目からウロコの著作権講座	熊本県立劇場	劇場や美術館での公演や展覧会を制作するスタッフやアーティストなどに向けた知財講座	2月4日	坂本顕子 (学芸員)
監視員研修会	美術館職員による研修 (坂本、杉谷、松本、中川、樋口)	「合理的配慮」と情報の機密保持	2月10日	監視員
絵の処方箋—鑑賞とデータ測定—	九州産業大学 熊本市現代美術館	九州産業大学の博物館浴*の研究の一環として、展覧会の鑑賞と科学的なデータの計測を実施。カナダで始まった「美術館に行く」という処方をデータとして裏付けようという実験に参加。	3月29日	岩崎千夏 (副館長)

イ サービス・交流

1 広報

種別	内容
美術館やイベントの総合的な情報発信	パンフレット、年間リーフレット、月だよりの作成・配付
展覧会の情報発信	展覧会チラシ、ポスターの作成・配布
ホームページ維持管理	維持管理・変更・更新等(レンタルサーバ含む) 熊本市現代美術館 https://www.camk.jp
SNSによる情報発信	美術館の出来事をリアルタイム・広範囲に発信・拡散 ・Twitter:@camk_kumamoto ・Facebook:熊本市現代美術館 ・Instagram:camk_kumamoto ・Youtube:熊本市現代美術館
メディアを利用した情報提供	報道資料、リリースの作成・配付
紙メディアを利用した情報提供	新聞、雑誌等への取材依頼、記事提供等
ラジオ・テレビ取材等	ラジオ、テレビへの取材依頼、情報提供、出演等 エフエム791(週1回レギュラー)
市政だより、市facebook等	記事提供

2 ボランティア

(1) ボランティア活動

種別	内容	人数
図書チェック	ホームギャラリーやキッズサロンの本のチェック、整理	37人
布絵本修理	キッズサロンの布絵本の修理、手遊びグッズの作成等	18人
発送作業	ポスター、チラシ等の発送作業	34人
ピアノ演奏	ミニピアノコンサートの演奏	52人
読みがたり	絵本や紙芝居などの読みがたり	22人
合計		163人

(2) ボランティア研修等

種別	内容	人数
新規ボランティア研修①	第21期ボランティア希望者への研修	7人
新規ボランティア研修②	第21期ボランティア希望者への研修	5人
新規ボランティア研修(個別)	第21期ボランティア希望者への研修	2人
合計		14人

3 多様なジャンルのイベント

(1) 映画・映像イベント

種別	内容	開催日	人数
定期映画上映会	月曜ロードショー	毎週月曜の14時-、17時-の2回 上映権付の映画上映	52回/年 ※台風のため9月19日は中止
合計			1,963人

(2)音楽・朗読イベント

種別	内容		開催日	人数
音楽イベント	ホームギャラリー☒ ミニコンサート	当館のピアノボランティアによるピアノ演奏。ホームギャラリーで毎日19:00-19:30に実施	145回/年 ※新型コロナ感染対策のため活動休止期間あり	350人
朗読イベント	詩の朗読会	毎月テーマを決めて自作の詩を発表しあう詩の朗読会(飛び入り参加も可)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため通年で中止	中止継続
合計				350人

(3)子ども向けのイベント

種別	内容		開催日	人数
読みがたり	当館ボランティアによる絵本の読みがたり、紙しばい、手遊び歌など(129-139回)		5月21日 6月11日 7月9日 8月20日 9月17日 10月22日 11月19日 12月17日 1月21日 2月18日 3月18日	83人
子育てひろば ワークショップ	おはなし会とふれあい遊び	転入者とその子どもを対象に自己紹介やゲームで交流する、出会いの場づくり	4月21日	19人
	ベビーマッサージ	ベビーマッサージをしながら親子でスキンシップ	5月19日	20人
	親子で楽しむリトミック	親子でできる手遊びや歌遊びを取得するワークショップ(1歳以下編)	6月23日	21人
	陶芸で手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	7月21日	23人
	アートであそぼう	トートバックに自由に絵を描くマイバック制作ワークショップ	8月18日	23人
	ふれあい遊び	親子でのふれあいを大切にしたい音楽遊び	9月22日	16人
	ベビーマッサージ	ベビーマッサージをしながら親子でスキンシップ	10月20日	23人
	絵の具で描くトートバックづくり	トートバックに自由に絵を描くマイバック制作ワークショップ	11月17日	24人
	親子で作ろうミニアルバム	親子で協力してミニアルバムの制作に挑戦するワークショップ	12月22日	21人
	親子ふれあいヨガ	親子でヨガをしてリフレッシュするワークショップ	1月19日	24人
	英語であそぼう	親子で英会話を楽しむワークショップ	2月16日	23人
親子ふれあい音楽遊び	親子でのふれあいを大切にしたい音楽遊び	3月24日	21人	
授乳室壁画制作	コーダ・ヨーコさんによる、授乳室内の壁画制作	2月7日-3月8日	-	
合計				341人

(4)アトラボマーケットでのイベント

タイトル	講師	内容	開催日	人数
「ART LAB MARKET」予定地開放	なし	ART LAB MARKETの予定地を開放。スケッチや図面などの資料で進捗を紹介し、来場者がアイデアが書き込める大判シートを設置	6月9日-8月25日	-
ado2023オリジナルうさぎカレンダーワークショップ	アド(イラストレーター)	イラストレーターのアド制作のオリジナルカレンダー制作ワークショップ	12月21日-28日	-
ado千支プラバンワークショップ	アド(イラストレーター)	イラストレーターのアドと一緒にプラバンを作るワークショップ	12月24日	-
熊本城新春ぬりえワークショップ	なし	熊本城のぬりえ(2種)を楽しむワークショップ	1月4日-16日	-
YOUR FIRST STAMPワークショップ	小山田将監(アーティスト)	自分だけのオリジナルのスタンプを作るワークショップ	1月14日-15日	-
LOVE LETTER ラブレターを書こう!	小山田将監(アーティスト)	投函されたラブレターにスタンプアーティストがスタンプを足して実際のポストへ投函するワークショップ	1月16日-2月6日	-
小国杉のアロマワックスシェワークショップ	FIL(ライフスタイルブランド)	小国杉のアロマを溶かしたソイワックスに、ドライフラワーなどを飾りキャンドルを制作。	1月21日	-
斗真の折り紙教室	池田斗真(中学生)	折り紙名人の斗真さんによる折り紙教室	3月31日-4月2日	-

公益目的事業

公1:美術館における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業【令和4年度実績一覧】

ア 展覧会等

1 メインギャラリー(ギャラリーⅠ・Ⅱにおける展覧会)

(1)ギャラリーⅠ・Ⅱ

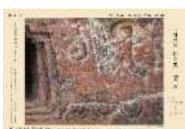
チラシ	展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
	塔本シスコ展 シスコ・パラダイス かかずにはいられない！人生絵日記	熊本県出身の素朴派の画家、塔本シスコの過去最大の回顧展。あふれでる喜びや夢をベースに自らが育てた花、生き物、家族、ふるさと熊本の風景を、キャンバスにとどまらず、あらゆるものに描いた約200点を紹介。	4月1日-10日 (9日間) ※2月5日-3月31日 (46日間/前年)	2,583人
	和田誠展	和田誠の膨大で多岐にわたる仕事の全貌を紹介した回顧展。和田誠を知るうえで欠かせない30のトピックを軸に、83年の生涯で制作した多彩な作品や資料およそ2,800点を展示。	4月23日-6月19日 (50日間)	16,520人
	開館20周年記念 ひびのこづえ×KUMAMOTO 不思議の森に棲む服 展	コスチュームアーティストひびのこづえの個展。パフォーマンス、音楽、衣装や原画などの多様な表現を紹介。これまで、現代美術でも、ファッションの文脈でも語られることの少なかったその作品と思想、業績に新たな評価を与えることを目的とする展覧会。	7月2日-9月19日 (67日間) ※台風接近のため、9月18日・19日は休館	11,257人
	PAPER: かみと現代美術	「紙」や「紙製品」に注目し、独自の表現へと昇華させた現代美術家を紹介する展覧会。誰にとっても馴染みのある「紙」とおしてアーティストが投げかける問いから、私たちを取り巻く世界や価値観を照らし出す。	10月1日-12月18日 (68日間)	8,382人
	第34回 熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。 審査員:日比野克彦(アーティスト)出品点数:230点 ※エで再掲	1月7日-1月22日 (14日間)	3,060人
	坂口恭平日記	熊本出身・在住の坂口恭平によるパステル画701点とアトリエによって構成した企画展。坂口の思考と創造の営みを紹介することによって、私たち自身の生きる日々を見つめ直した。	2月11日-3月31日 (42日間) ※4月1日-4月16日 (14日間/次年度)	6,384人
合計				48,186人

2 小ギャラリー(ギャラリーⅢ・井手宣通記念ギャラリー)における展覧会

(1)ギャラリーⅢ

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
	太田三郎 切手に種をのせて	切手を用いた作品で知られる太田三郎(岡山県在住)の個展。同時期に開催の「くまもと花と緑の博覧会」に際し、植物の葉や種子をモチーフとした太田の代表的な作品を展示。	4月1日-6月5日 (58日間) ※3月19日-31日 (11日間/前年)	3,617人
	熊本市現代美術館開館20周年記念 CAMKポスター大回顧展	2002年に開館した熊本市現代美術館は、開館20周年を迎えた。本展では、展覧会ポスター約100点を通して、当館がこれまでの20年間に開催してきた展覧会を振り返った。	6月8日-8月21日 (65日間)	3,790人
	熊本市現代美術館開館20周年記念 Our Attitudes	開館20周年記念企画として、1980年代生まれの熊本出身作家の作品を取り上げ、この20年のうちに熊本から芽吹いた新たな表現を紹介。	8月28日-10月30日 (53日間) ※台風接近のため、9月18日・19日は休館	5,442人
	誰も知らない	熊本や九州で、「人知れず驚きの制作活動を続ける人」の情報提供を呼びかけ、企画した展覧会。驚くべき多様な制作活動をする5人の表現を紹介。	11月2日-1月15日 (60日間)	4,635人

(1)ギャラリーⅢ(つづき)

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
	小材啓治 私の風土記 展	熊本出身・在住の洋画家小材啓治の個展。阿蘇火口や、チブサン古墳などをモチーフにした絵画作品16点を出品。	1月18日-3月5日 (41日間)	2,522人
	CAMKコレクション 目の部屋と手の部屋	視覚と触覚という異なる感覚器官による作品鑑賞をとおして、「作品を見る」ことの広がりを探っていく小企画。「目の部屋」では対話による鑑賞を、「手の部屋」では手袋を着用して作品にさわる鑑賞を推奨。	3月8日-3月31日 (21日間) ※4月1日-5月14日 (38日間/次年)	1,998人
合計				22,004人

(2)井手宣通記念ギャラリー

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
	CAMKコレクション展 反復、リズム	「反復」「リズム」をテーマとした所蔵作品展。牛島憲之、黒木重雄、長尾紀壽、名護朝和、野田哲也、秀島由己男、藤岡祐機の作品合計21点を展示。	4月1日-6月5日 (58日間) ※3月30日-3月31日 (2日間/前年)	3,617人
	熊本市現代美術館開館20周年記念 CAMKポスター大回顧展	2002年に開館した熊本市現代美術館は、開館20周年を迎えた。本展では、展覧会ポスター約100点を通して、当館がこれまでの20年間に開催してきた展覧会を振り返った。	6月8日-8月21日 (65日間)	3,790人
	熊本市現代美術館開館20周年記念 Our Attitudes	開館20周年記念企画として、1980年代生まれの熊本出身作家の作品を取り上げ、この20年のうちに熊本から芽吹いた新たな表現を紹介。	8月28日-10月30日 (53日間) ※台風接近のため、9月18日・19日は休館	5,442人
	新規収蔵作品展	2021年度に新たに収蔵した作品群を中心に紹介。赤星宣利、井手宣通、岩崎貴宏、加藤泉、坂本夏子、神野大光、高浜寛、八谷和彦、秀島由己男、宮崎静夫、渡邊義紘の作品計21点を展示。	11月2日-1月15日 (60日間)	4,635人
	熊本市現代美術館収蔵作品より ボリス・ミハイロフ『Case History』	旧ソ連の崩壊後、作家の故郷ウクライナ・ハルキウの街流入した資本主義経済により拡大する貧富の差。その影響下で暴力にさらされるホームレスや麻薬中毒の子ども達を撮影した作品より20点を展示。	1月18日-3月5日 (41日間)	2,522人
	CAMKコレクション 目の部屋と手の部屋	視覚と触覚という異なる感覚器官による作品鑑賞をとおして、「作品を見る」ことの広がりを探っていく小企画。「目の部屋」では対話による鑑賞を、「手の部屋」では手袋を着用して作品にさわる鑑賞を推奨。	3月8日-3月31日 (21日間) ※4月1日-5月14日 (38日間/次年)	1,998人
合計				22,004人

3 フリーゾーン・階段ギャラリー等における展覧会

(1)フリーゾーン

展覧会名	展覧会内容	期間
マッチフラッグ 特別展示	アート・プロジェクト「マッチフラッグ2022熊本」の開催と揃え、過去のマッチフラッグと新作マッチフラッグを常時5点展示。(関連事業別記あり)	9月29日-12月22日 (72日間)

(2)階段ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間
和田シネマパラダイス	和田誠展と連動した映画ポスターの展示	4月20日-6月19日 (50日間)
あおば支援学校作品展	「あかるくなかよくおおらかに」をテーマにした小学部の作品展	7月4日-7月30日 (23日間)
大城組の巨匠たち展	熊本市の支援学級で長年教鞭をとる大城先生とその教え子たちによる作品展	7月31日-8月28日 (27日間)
熊本友の会 幼児生活団(熊本)	幼児生活団(熊本)の活動の中で作られた造形作品等の展示	9月2日-9月29日 (24日間)
フレンドリーオンライン作品展	熊本市教育委員会と協働した「ちいさないのちをえがこう」ワークショップの成果展示	11月16日-12月8日 (20日間)
熊本大学附属特別支援学校中学部 作品展	熊本大学特別支援学校中等部に通う生徒の造形作品	12月10日-1月9日 (21日間) *12/27は壁面塗装のため閉場
ゴッホを探せ 絵画コンクール	熊本市北区役所による区の花・ひまわりをテーマにした絵画コンテストの入賞作品展	2月15日-2月27日 (12日間)
飽田南小学校 6年生卒業制作展 ～もてなすトリオと 夢獅子の物語～	飽田南校区名産の茄子をテーマに生人形師の厚賀新八郎氏に指導を受けた卒業制作の作品展	3月2日-3月15日 (13日間)

イ コンサート、パフォーマンス等

1 ホームギャラリーや街なか(商店街等)における公演

(1)作品上映会

展覧会名	演題	内容	開催日	参加者
和田誠展	プラネタリウム「ぬすまれた月」 スペシャル投映	熊本博物館との連携プログラム。「和田誠展」会期に合わせて、和田誠の絵本を原作としたプラネタリウム作品を熊本博物館で投映。	4月23日-6月19日	5,844人
合計				5,844人

(2)パフォーマンス

展覧会名	演題	出演	内容	開催日	参加者
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ× KUMAMOTO 展	ROOT:根	ひびのこづえ、アオイヤマダ、小野龍一	プレオープニングイベントとして行うダンスパフォーマンス公演(上演時間45分)	7月1日	150人
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ× KUMAMOTO 展	ROOT:根	ひびのこづえ、アオイヤマダ、小野龍一	ダンスパフォーマンス公演(上演時間45分)	7月2日	110人
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ× KUMAMOTO 展	MAMMMOTH	ひびのこづえ、藤村港平	ダンスパフォーマンス公演(上演時間45分)	8月26日	100人
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ× KUMAMOTO 展	MAMMMOTH	ひびのこづえ、藤村港平	ダンスパフォーマンス公演(上演時間45分)	8月27日	180人
坂口恭平日記	オープニングレセプション	坂口恭平(出品作家)、折坂悠太(歌手)	折坂悠太と坂口恭平によるシークレットライブ	2月10日	174人
坂口恭平日記	-	坂口恭平(出品作家)	坂口恭平による公開制作やライブ等	25日以上	-
坂口恭平日記	Shhhhh 「Ancestral Tour (Music for the museum by Shhhhhh)」	Shhhhh(DJ)	Shhhhhによる音楽による空間デザイン	3月21日	97人
合計					811人

ウ 講演会、トークショー、ギャラリーツアー等
1 ホームギャラリーや展覧会場等における講演
(1)アーティスト・トーク

展覧会名	演題	講師等	内容	開催日	参加者
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ× KUMAMOTO 展	アーティストトーク 「ひびのこづえが語る、服とあそび」	ひびのこづえ(出品作家)	出品作家によるトーク	7月2日	50人
Our Attitudes	オープニング・アーティストトーク「作家の20年、美術館の20年」	坂本夏子、園田昂史、武田竜真、松永健志(出品作家) 宮本華子(展示発案者)	出品作家が、熊本市現代美術館に触れてきたそれぞれの経験も振り返りつつ、現在の自身の活動について語るトーク。	8月28日	30人
PAPER: かみと現代美術	アーティストトーク	安部典子、ウチダリナ、太田三郎、小野田賢三、播磨みどり、半谷学、半澤友美、渡辺英司(出品作家)	出品作家による作品や制作についてのトーク	10月1日	15人
Our Attitudes	トークセッション「美術館は地域で何ができるのか」	日比野克彦(館長)、宮本華子(展示発案者)、松永健志(出品作家)、弥永隆広(大川市立清力美術館 館長)	熊本市現代美術館の開館20周年を前に開催する、80年代生まれの熊本のアーティストと日比野克彦館長によるトークセッション。県外からのゲストも迎え、アイデアを交換。	10月9日	30人
小材啓治展	アーティストトーク	小材啓治(出品作家)	出品作家によるトーク	1月22日	35人
坂口恭平日記	千葉雅也×坂口恭平	千葉雅也(哲学、創作)、坂口恭平(出品作家)	千葉雅也と出品作家によるトークおよび即興演奏	2月25日	82人
坂口恭平日記	心学校 一特別編一	みなみしま(横浜美術館学芸員)、坂口恭平(出品作家)	オンライン上の講義の特別公開収録	3月18日	37人
合計					279人

(2)講演会

展覧会名	演題	講師等	内容	開催日	参加者
塔本シスコ展 シスコ・パラダイス	第1部:クロージングトーク 第2部:シスコdeディスコ	福迫弥麻(シスコの孫)、いしいしんじ(小説家)	塔本シスコの人と作品に関するトークと、蓄音機を用いたシスコさんがおそらく好んだであろう古い音源を聞くイベント	4月9日	40人
第34回熊本アートパレード	審査員講演会	日比野克彦(アーティスト)	入賞作品のスライド審査講評と会場希望者に行う講評会	1月17日	42人
坂口恭平日記	坂口恭平と健康生成	斎藤環(精神科医)	坂口恭平の創造と健康を分析した講演会	3月11日	75人
合計					157人

(3)ギャラリー・トーク

展覧会名	講師等	内容	開催日	参加者
塔本シスコ展 シスコ・パラダイス	坂本顕子(学芸員)	学芸員が展覧会場を案内するツアー	4月3日	20人
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ×KUMAMOTO 展	松本充史(熊本市動植物園副園長)、富澤治子(学芸員)	ギャラリートークタイトルは「動物のお医者さんと一緒にひびの作品をみる」。会場内の作品と、作品主題の各生きものの生態の特徴を解説しながら案内。	8月6日	11人
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ×KUMAMOTO 展	富澤治子(学芸員)	学芸員が展覧会場を案内するスペシャルツアー(クラウドファンディングのリターンとして実施)	8月20日 9月11日	16人

PAPER:かみと現代美術	岩崎美千子(学芸員)	学芸員が展覧会場を案内するスペシャルツアー(クラウドファンディングのリターンとして実施)	11月5日 11月14日	6人
誰も知らない	坂本顕子(学芸員)	Instagramのインスタライブを使って、「誰も知らない」展の会場内を解説しながら案内。	11月2日	-
坂口恭平日記	池澤茉莉(学芸員)	学芸員が展覧会場を案内するスペシャルツアー(クラウドファンディングのリターンとして実施)	2月19日 3月13日	2人
			合計	55人

エ 公募による展覧会

1 熊本市にゆかりのある人なら誰でも出品することができ、出品された作品は全て展示する市民公募展の開催

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
第34回 熊本市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。 審査員:日比野克彦(アーティスト)出品点数:230点	1月17日-1月22日 (14日間)	3,060人
合計			3,060人

オ 他館での企画展事業支援

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
「光と陰のアンソロジー この世界にただ独り立つ」展(外山恒一展示部分) つなぎ美術館	社会での出来事を独自の視点で捉え、それぞれ異なる手法で人々に伝える三人の表現者、平川恒太(現代美術家)、山本草介(映像作家)、外山恒一(革命家)のグループ展。	9月10日-11月13日 (56日間)	704人
合計			704人

カ 災害復興支援事業

1 無料展覧会・企画展等被災者への復興応援事業

2 被災地の自治体や文化振興を目的とする団体等への寄付

※上記1.2については、令和4年度は実施していない

公益目的事業

公2:美術館等における文化芸術の調査研究等事業【令和4年度実績一覧】

ア 調査研究

事業内容	主な研究分野
1.美術館・文化芸術全般	坂口恭平日記
	動画クリエイター展
	遠距離現在 Universal/Remote 展
	ミュシャ展
2.九州又は熊本ゆかりの作家	中村賢次、烏山秀直など九州内各県の作家調査
3.熊本ならではの文化や歴史	生人形ほか
4.市収蔵作品、他館からの借用作品	市収蔵作品(井手宣通ほか)についての調査研究
	中村賢次展・遠距離現在 Universal/Remote 展・ミュシャ展の出品作品調査

調査研究内容の公表方法	実績
1.展覧会、講演、紀要・論文等	展覧会及び図録の発行・講演会等の開催による公表 熊本市現代美術館2020年度、21年度年鑑【アートガマダスVol.20、21】web掲載
2.情報システム管理によるデータの蓄積、ホームページや館における閲覧の公表	市収蔵作品リスト(1,332点)
3.収蔵作品の展示公開/他館への貸出/特別利用	熊本市現代美術館における展示公開(55点) 他館への貸出(19点) 特別利用(熟覧:3点、撮影:3点)
4.館内での閲覧(図書資料等)	ホームギャラリー、アートスカイギャラリー、キッズサロンにおける閲覧
5.借用元への情報提供	調査研究内容についての情報提供

職員ごとの調査研究内容	実績	
岩崎千夏	論文	「巻頭言」『AG2021』熊本市現代美術館、2022年 『ご用を聞くってどういうこと?』『ご用聞きー熊本市現代美術館の館長が市役所にご用聞きに行く理由』熊本市現代美術館、2023年3月28日
	発表	「公開座談会:日比野館長のご用聞き1周年記念 目指すゴールはウェルビーイング」熊本市現代美術館、2022年12月10日
		「熊本エデュケーションウィーク 子ども・地域・教育フォーラム 社会教育士が仕掛ける『ひとづくり』『つながりづくり』『まちづくり』」熊本市教育委員会、2023年1月27日(オンライン)
		「ミュージアム運営を変えるお金の潮流 セッション2『新しい』に挑戦するミュージアム」READYFOR、2023年3月28日(オンライン)
	監修	日比野館長のご用聞き(懇談、課題相談等含む)4月12日~2月12日までのべ16回/11課で実施
	外部委員	公益財団法人熊本県立劇場役員候補者選考委員会委員
		坂本善三美術館運営協議会委員
必由館高等学校改革に関するコンソーシアム会議委員		
熊本県文化協会常務理事(館長代理)		
熊本県文化懇話会常任世話人(館長代理)		
富澤治子	論文	「熊本市現代美術館×熊本市動植物園 市民とつくるアートプロジェクト「コーダ・ヨーコ 水とあそぶどうぶつたち」大壁画完成までの道のり」、『AG2021』熊本市現代美術館、2022年
		「画家・版画家 故秀島由己男さん資料群に寄せて」熊本日日新聞朝刊、2022年6月21日
		「SDGsとひびのこづえ」熊本日日新聞朝刊、2022年8月12日
	発表	「現代における生人形受容の変化というか、激変の20年」『松本喜三郎墓前祭』松本喜三郎顕彰会・浄国寺、2022年4月29日
	展覧会カタログ	論文「ひびのこづえの世界解釈 夢と好奇心」、「ひびのこづえロングインタビュー(1)・(2)」『開館20周年記念 不思議の森に棲む服 ひびのこづえ×KUMAMOTO展』熊本市現代美術館、2022年9月16日
	監修	「秀島由己男作品保存管理アドバイスならびに作品調査」和水町教育委員会、2022年5月28日~2023年3月4日まで5回実施
		「マッチフラッグプロジェクト熊本2022」熊本駅前アミュひろば、花畑広場、下通二番街、不知火美術館、天草大陶磁器祭、熊本市現代美術館、2022年10月10日-12月22日 ひびのこづえ展限定ハンカチ「KUMAMOTO」鶴屋デパート、アートプリントジャパン、熊本市現代美術館、2022年7月2日
外部委員	RKK番組審議会	

調査研究内容(つづき)		実績
坂本顕子	論文	「“自己満足”が人の生にもたらすもの:「誰も知らない」展の準備のさなかで/開館20周年に向けて」『DNPartscape キュレーターズノート』2022年6月15日
		「『Our Attitudes』を通して見る、熊本市現代美術館の20年/この先の企画者のために経緯を残しておくこと」『DNPartscape キュレーターズノート』2022年6月15日
		「生活こそすべて。毎日何をしているかだけでもんな、人生は。——坂口恭平日記」『DNPartscape キュレーターズノート』2022年2月15日
		「VOCA2022 現代美術の展望—新しい平面の作家たち(上野洋嗣解説)」VOCA展実行委員会、2023年3月16日
	発表	「熊本エデュケーションウィーク フレンドリーオンライン～誰ひとり取り残さない教育のカタチ～」熊本市教育委員会、2023年1月22日(オンライン)
		「アートマネジメントについて ヘリテージマネージャー講習会(講演+ワークショップ)」熊本県建築士会、2023年2月18日
	動画	「誰も知らない」展作家紹介、熊本市現代美術館ギャラリーⅢ、2023年11月2日
監修	上通アートプロジェクト2022「上通甘味手帖」作品展示及び冊子制作、事業運営	
	宇城市不知火美術館 塔本シスコ作品収蔵調査	
外部委員	VOCA2022展推薦委員	
	地域創造 地方公立美術館活性化委員会委員	
佐々木玄太郎	論文	「時代を歩み[つくる仕事]—[和田誠展]に寄せて」熊本日日新聞、2023年6月10日
	発表	「Curatorial Practices Rooted in the Environments of Kyushu」(Un)winding: Spinning East Asia Response Forum, Center for Heritage Arts & Textile、2023年5月15日(オンライン)
		「『段々降りてゆく』展における外山恒一展示計画・その後」『トークセッション「革命家と語る芸術表現の“可能性”と“限界”』』つなぎ美術館、2022年10月15日
		「美術館は地域で何をしているか—熊本市現代美術館の場合」『トークイベント「現代アートと地域とまちづくり」』鹿児島大学、2022年12月9日
監修	「光と陰のアンソロジー この世界にただひとり立つ展(外山恒一展示部分)」つなぎ美術館、2022年9月10日-11月13日	
池澤茉莉	論文	「G3-Vol.145 熊本市現代美術館開館20周年記念 CAMKポスター大回顧展 開催報告」『AG2022』熊本市現代美術館、2022年
	その他	開館20周年記念クラウドファンディング及びホームギャラリー、アトラボマーケットリニューアル進行
		坂口恭平パステル画オンライン・カタログ・レゾネ制作 坂口恭平「Museum」作品調査及び展示補助
岩崎美千子	展覧会カタログ	論文「人の手と思考のマテリアル」、作家解説(半谷学、半澤友美、安部典子、ウチダリナ、播磨みどり、太田三郎、小野田賢三/照屋勇賢、渡辺英司)『PAPER: かみと現代美術』展覧会カタログ、熊本市現代美術館、2022年

イ 熊本市収蔵作品整理、保管、貸出等事業

内容		点数等	
収蔵作品の整理、保管、貸出	市収蔵作品点数	1,332点	
	熊本市現代美術館における展示公開	55点	
	他館での展示のための貸出 ※いずれも無償で貸与	安本亀八《相撲生人形》	1点
		堅山南風 《黄昏》	1点
		堅山南風 《瑞龍 大下図》	1点
		田代順七《阿蘇》	1点
		徳久崇《いやしぶた》	1点
		塔本シスコ《ふるさとの海》	1点
		淵田安子《楽しい生活》	1点
		淵田安子《母の像》	1点
		淵田安子《断片》	1点
		淵田安子《二ツの部屋》	1点
		淵田安子《出会い》	1点
		淵田安子《花》	1点
		淵田安子《釘》	1点
		淵田安子《歯車》	1点
		蔵本朝美《水車》	1点
		田代順七《初秋の庭》	1点
		春口光義《瓦と鋳力とコヨリ》	1点
	淵田安子《蝶と皿と魚》	1点	
	矢田道也《形口》	1点	
	合計	19点	
	特別利用(熟覧・撮影等)	—	
作品画像貸出件数	堅山南風 《黄昏》	1点	
	堅山南風 《瑞龍 大下図》	1点	
	合計	2点	
作品修復	—		
令和4年度 新規作品収蔵	購入	ひびのこづえ《ROOT:根》2021年-	1式
		山内光枝《信号波 2021-》2021年-	1点
		山内光枝《つれ潮》2018年	1点
		浦川大志《熊本駅からの風景(撃つ用意)》 2019年	1点
	寄贈	塔本シスコ《ネコ岳ミヤマキリシマ》1989年	1点
		塔本シスコ《ミアのケッコンシキ》1997年	1点
		塔本シスコ《シスコ 牛年》1997年	1点
		塔本シスコ《アザミときじぐるま》1998年	1点
		塔本シスコ《ガクアジサイとカニ》1998年	1点
		浦川大志《幽霊であるし》2021年	1点
		浦川大志《観光写真、google》2021年	1点
		名もなき実昌《jpegと幽霊》2016年	1点
		名もなき実昌《低画質地獄('△' ;)熊本ver.》 2019年	1点
		瀧下和之《鬼フィギュア DX》2018年	5点組
図書資料管理	図書資料等の 収集	開架用書籍(絵本、漫画等含 む)	136冊
		刊行物	22誌
		研究書(展覧会企画等に利用)	137冊
		映像・音楽資料	7本
	図書装備	装備	0冊
		コーティング	9冊
	図書資料デー タ管理	一般図書(絵本、漫画等含む)	31,081件
		逐次刊行物	277件
映像資料(CD等含む)		2,057件	
		合計	33,415件

公益目的事業

公3:美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業【令和4年度実績一覧】

ア 教育普及

1 市民参加型ワークショップ

(1)ワークショップ

展覧会名	タイトル	出演	内容	開催日	参加者
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ× KUMAMOTO 展	ちいさな生きものづくり ワークショップ	ひびのこづえ (出展作家)	作家が用意したはぎれ布と糸をつかって、オリジナルの生きもののブローチを、デザイン画を描くところから完成までをつくる。	7月2日、3日 8月27日、 28日	175人
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ× KUMAMOTO 展	ダンスのワークショップ	アオイヤマダ	ダンス時の身体の動かし方や振り付けの考え方を実践で学ぶワークショップ。	7月2日、3日	62人
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ× KUMAMOTO 展	音楽のワークショップ	小野龍一	ピアノの機能を理解し、どこを触るとどういう音が出るのかを確かめ、いつもと違う演奏を共同で行うワークショップ。	7月2日、3日	30人
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ× KUMAMOTO 展	ちいさな生きものづくり ワークショップ	ひびこづえ (出展作家)	作家が用意したはぎれ布と糸をつかって、オリジナルの生きもののブローチを、デザイン画を描くところから完成までをつくる。	7月3日	50人
不思議の森に棲む服 ひびのこづえ× KUMAMOTO 展	ダンスのワークショップ	藤村港平	ダンスにおける身体の動かし方と、グループを作りコンビネーションで踊る際の振り付けを実践で学ぶワークショップ。	8月27日、 28日	49人
PAPER: かみと現代美術	[オープニング・ワーク ショップ] たたいて紙作り!? 樹皮紙に挑戦!	半澤友美 (出展作家)	樹皮を「叩く」ことで薄いシート状にした「樹皮紙」作りを体験するワークショップ。「漉く」とは異なる紙作りを学ぶ。	10月2日	15人
PAPER: かみと現代美術	[ワークショップ] かみ展×新聞週間 くしゃくしゃおばけで いっぱい!	小栗里奈 川合由美 (PLAY! PARK)	10月15日から7日間の「新聞週間」に合わせ、新聞紙遊びのワークショップを開催。参加者が新聞紙から着想を得て、思い思いの遊び方を考える。	10月16日	50人
Our Attitudes	[ワークショップ]絵で絵 をつくる——かたちを探 して世界を描こう	坂本夏子 (出展作家)	Our Attitudes展の出品作家の一人によるワークショップ。木炭を使い、形や濃淡を組み合わせて絵を制作。熊本市現代美術館×くまモン夢学校企画開催。	10月29日	18人
PAPER: かみと現代美術	[ワークショップ] 和紙で型取りしてみよう @アートラボマーケット	ウチダリナ (出展作家) *VTR	和紙による型取りを体験するワークショップ。出品作家が制作に使用している和紙を用いて、作家の制作手法を体験する。参加者は型取りしたいものを持参、もしくは美術館が用意した小物で体験。	12月2日-18日	59人
PAPER: かみと現代美術	[クロージング・ワーク ショップ] さしがさばなワーク ショップー「い草」の紙で 灯の花を咲かそうー	半谷学 (出展作家)	紙でランプシェードを作るワークショップ。紙は、熊本県産の畳の製造工程で出る「い草」の端材が原料。参加者は、現在は不要だが思い出があって捨てられない小物を持参し、ランプシェードの装飾に使用した。	12月17日、 18日	31人
坂口恭平日記	[イベント] 「旧アトリエ特別公開」	—	坂口が2019年2月から制作場所として使っていた旧アトリエを公開。坂口が使用しているのと同じ画材でパステル画を描く機会も提供。	2月23日 3月9日	30人
坂口恭平日記	[ツアー] 「坂口恭平 生活地図 バ スツアー」	坂口恭平 (出展作家)	フリーペーパー「坂口恭平 生活地図」に掲載している坂口恭平が「よく行く」熊本市内各所をめぐるバスツアー。	3月24日	12人
坂口恭平日記	[ワークショップ] 「絵の処方箋—鑑賞と データ測定—」	緒方 泉(九州産業 大学地域共創学部 教授)	緒方教授による博物館浴の研究の一環として、展覧会の鑑賞と科学的なデータを計測。ミニレクチャー「博物館浴研究の最前線」も実施。	3月29日	12人
合計					593人

2 美術館ツアー、出張授業等

1)美術館を活用してもらうために、申し込み制で家庭教育学級等をはじめ、一般や学校のグループ向け美術館ツアーを実施。

参加者	受入団体数	参加人数
未就学児	-	-
小学校	18団体	453人
中学校	12団体	219人
高校	11団体	196人
大学	5団体	161人
専門学校	9団体	331人
一般	34団体	274人
合計	89団体	1,634人

(2)視察

団体名	担当課等	内容	開催日	参加者
金沢市議会	議会事務局	金沢市議会議長来館	10月28日	5人
宮崎県立美術館	学芸課	ALM・教育普及視察	2月24日	1人
		合計		6人

2)美術館をより身近に感じてもらい次回の活用を促すため、申し込み制で学校等に向けた出張授業やワークショップ

(1)アートプログラム

種別	対象	内容	開催日	参加者
出張レクチャー	熊本デザイン専門学校	美術館や展覧会に関する学芸員の出張授業 5月は「和田誠」展、10月は「PAPER: かみと現代美術」について紹介した。	5月25日、27日 10月24日、28日	300人
和田誠展 オンラインツアー	フレンドリーオンラインわくわく授業	不登校の児童生徒を対象にしたオンラインツアー	5月18日	40人
瀧下和之複製屏風 貸出	杉上小学校	瀧下和之作品のレプリカを用いた鑑賞授業	9月2日	40人
コーダヨーコ 「ちいさないのちをえがこう」	熊本市教育委員会、 フレンドリーオンライン、 フレンドリー教室	不登校の児童生徒を対象に実施した初めてのリアルとオンラインのハイブリッド授業。第1回をアートラボマーケットで実施し、第2回目は動植物園にスケッチ大会に出かけた。作品は階段ギャラリーのほか、サクラマチのサンクンガーデンに巡回展示した。	10月19日 11月9日	40人
紙漉き体験 い草のポストカード作り ワークショップ	慶徳小学校 (3-4年生、特別支援学級)	「PAPER: かみと現代美術」の出品作家である半谷学氏を講師に、紙漉きを体験するワークショップ。熊本県産の畳の製造工程で出るい草の端材を原料とする紙料を用いて、ポストカード大の紙を作る。	12月16日	43人
出張レクチャー	九州ルーテル学院大学	大学1年生が対象の「図画工作」という授業。「展覧会に付随したワークショップ」というテーマのもと、「PAPER: かみと現代美術」で実施した内容を紹介。(オンライン)	1月20日、23日	40人
「坂口恭平日記」鑑賞	「唐人町寺子屋」生徒	「坂口恭平日記」鑑賞および作家との対話	3月14日	23人
陶芸ワークショップ	放課後等デイサービス「なないろスマイル」	陶芸家の田口和代氏によるフリーカップを作るワークショップ	3月27日	17人
		合計		543人

(2)アートバス

種別	対象	内容	開催日	参加者
鑑賞	西里小学校支援学級(1-6年生)	ひびのこづえ展鑑賞	7月15日	25人
鑑賞	川口小学校(1-2年生)	ひびのこづえ展鑑賞	9月2日	20人
鑑賞	河内小学校(3年生)	ひびのこづえ展鑑賞	9月9日	40人
鑑賞	若葉小学校(特別支援学級)	PAPER: かみと現代美術展鑑賞	11月25日	25人
鑑賞	慶徳小学校(3-4年生、特別支援学級)	PAPER: かみと現代美術展鑑賞	12月16日	44人
		合計		154人

(3)その他

種別	連携先	内容	開催日	参加者
博物館実習	各大学	学芸員を志す学生に向けた実習 (新型コロナウイルスの影響で、一部の学生は オンラインで実施)	8月20日-8月 26日 (6日間)	10人
ナイストライ (中学生職場体験)	湖東中学校	ナイストライ(中学生職場体験)	9月15日、16日	3人
	白川中学校	職場見学(ナイストライ事業代替)	10月27日	3人
館外講演会	第二高等学校	熊本市現代美術館×熊本県立第二高等学校 坂本夏子トーク「未知の絵画を探したくて— 熊本第二高校を卒業してから20年」 Our Attitude展出品作家の一人、坂本夏子 による母校でのトーク。現在の高校生に向け て、これまでの自身の歩みを語り、参加学生か らのさまざまな質問や相談にも応えた。	10月26日	29人
職業インタビュー	熊本市立必由館高校	探求の授業での職業インタビュー	10月21日	3人
バックヤードツアー	—	リニューアル箇所とバックヤードを紹介するツ アー(クラウドファンディングのリターンとして 実施)	10月21日 11月19日 12月10日	5人
職場体験(見学)	おおぞら高等学院	通信制高校の職場見学	11月7日	3人
合計				56人

イ 地域文化芸術活動支援

1 若手文化芸術活動者等の支援

種別	連携先	内容	開催日	参加者
音楽	くまもと大邦楽祭実行委員会	6月12日に行われる「くまもと大邦楽祭 2022」のプレイバントをホームギャラリーで 開催。箏による演奏会。	4月30日	57人
音楽	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実 行委員会	Great Composer Memorial Series アストル・ピアソラ『ブエノスアイレスの四季 vol.2「春」』アルゼンチン出身のバンドネオン の名手、作曲家であったアストル・ピアソラの 没後30年を記念するコンサート。	5月26日	40人
音楽		Great Composer Memorial Series アストル・ピアソラ『ブエノスアイレスの四季 vol.3「夏」』アルゼンチン出身のバンドネオン の名手、作曲家であったアストル・ピアソラの 没後30年を記念するコンサート。	7月29日	53人
音楽		JAZZ OPEN 2022 中心商店街各所でおこなわれるジャズの祭 典。美術館では、ベテラントリオとデュオの2組 が出演。	10月8日	77人
合計				227人

2 フリーペーパーの発行等

内容	詳細
ART KISS LETTER	当館で開催する展覧会の各種情報等を掲載するフリーペーパー。通年で5回 (103-107号)発行。
ご用聞き 熊本市現代美術館の館長が市役所にご用聞きに行く理由 0号	日比野館長のご用聞き活動について、行政内での認知度を高めるとともに、 開催意図を知ってもらうための小冊子を発行。

3 地域個人や団体が行う文化活動の支援やネットワーク構築

(1)共催・後援

種別	連携先	内容	開催日
共催	NPO法人オハイエくまもと	障害のある人もない人も一緒になって作り あげるコンサート(まちなか・ホームギャラリー で開催)。	6月5日
共催	ヒロ・デザイン専門学校	田山淳朗賞 高校生・中学生ファッション画コ ンテストin九州・沖縄の展示・表彰(日比野館 長よりビデオ・メッセージ)。	10月15日
共催	ぼんくま実行委員会	地域の本関係者によるブックフェスティバル 「BON KUMA HON 2022 VOL. 8 リハビ リ編」の一参加者として、「新しい古本0円市」 および『ブックセラーズ』映画上映会を当館内 で実施。	10月15日、16日 ※全体は10月14日-16日

(2)助言・文化活動支援

タイトル	連携先	内容	開催日
日比野館長のご用聞き (懇談、課題相談等含む)	熊本市/文化政策課、政策企画課、幸田まちづくりセンター、企業・新産業支援室、交通局(運行管理課・総務課)、東京事務所、青少年教育課、合同(文化創造部、文化政策課、文化課、幸田まちづくりセンター、市街地整備課、公園課)、市街地整備課、国際課	市役所各課に日比野館長と美術館職員が伺い、各課の課題やモヤモヤに対して異なる角度での対話を行う。市職員自らが新しい視点や前向きな思考に触れることで、課題へのアプローチのヒントを得る。(文化政策、総合計画見直し、これからのまちづくり、起業家の支援、まちづくりサロン、市電のブランド化、市の魅力発信、教育とアート、アートとWeb3、アート思考、子どもにとって楽しい学校づくり、上之裏通りのブランディング、在住外国人について、子飼商店街のまちづくり等)※再掲	4月12日、22日、 5月17日、7月22日、 8月12日、19日、25日、 9月12日、16日、30日、 10月21日、11月19日、 12月27日、1月7日、25日、 2月12日 (のべ16回/11課)
美術以外の相談・ブレインストーミング等	市民(15回)、企業(3回)、他施設・団体(7回)、市各課(37回)、マッチング(3回)	美術や美術館以外の相談等。まちづくり、障害、生きがい、仕事の方向性や方策等についてのブレインストーミングに違う立場から参加する	のべ65回
塔本シスコ作品の收藏に関するアドバイス	宇城市不知火美術館	塔本シスコ作品の寄贈に関する作品選定、情報提供、作品輸送等の協力 ※再掲	随時
ミュージアムIPM指導および作品調査	和水町	和水町所蔵の秀島由己男作品保存管理アドバイスならびに作品調査 ※再掲	5月28日、7月23日、 10月15日、12月17日、 3月4日
「マッチフラッグプロジェクト熊本2022」	くま博2022実行委員会、市街地整備課、下通二番街、不知火美術館、天草大陶磁器祭	「マッチフラッグプロジェクト熊本2022」の熊本県下参加希望地との交渉、監修、スケジュールリング、キット発送、展示補助。※再掲	10月10日-12月22日
坂本善三美術館運営協議会	坂本善三美術館	坂本善三美術館の事業運営に関する意見、助言等 ※再掲	12月5日
熊本市立必由館高校改革に関するコンソーシアム会議	熊本市学校改革推進課・指導課	市立高校改革の一環として、市教育委員会が検討する普通科改革等に関する指導・助言 ※再掲	2月8日 3月7日
Museum展示サポート等	Museum(坂口恭平美術館)	坂口恭平によるパステル画の調査及び展示サポート等。「坂口恭平日記」会期中は第2会場として連携。※再掲	随時(2月10日-4月16日のうち金土日祝は第2会場)
「私たちの熊本市を知り、探求のタネを探す旅」	熊本市立必由館高校探求部	必由館高校1-2年で14名と教諭7名が、市長のマニフェストを元に熊本市の各部署を訪問する体験学習。ALMにて「アートと多様性とWell-Being」についてディスカッション。※再掲	3月3日
アーティスト等と連携した地域ブランド確立に関する勉強会	熊本市/市街地整備課、文化政策課、都市デザイン課、商業金融課、政策企画課、公園課、東京大学、熊本大学	全国のオープンスペース(未利用地、道路)とアートの関係の成功事例の紹介と、今後の熊本市の方向性についての勉強会	3月30日

(3)ネットワーク構築

タイトル	連携先	内容	開催日
RKK 番組審議会	RKKほか県下の文化関係者	毎月、RKKが提案する番組内容を審議することで、熊本県下の放送文化の向上に寄与するもの ※再掲	4月6日、5月11日、6月1日 7月6日、9月7日、10月5日、 11月9日、12月7日、 2月1日、3月1日
熊本県文化協会 常任理事会 文化懇話会世話人会・ 総会	県内の文化関係団体と市町村文化協会	熊本の文化の育成発展に寄与する事業協力、県内の文化関係団体等との情報交換等 ※再掲	4月15日、6月9日、 7月7日、8月1日、 9月15日、10月19日、 12月12日、2月16日
熊本市文化創造協議会	熊本市文化政策課	地域文化振興を図る諸団体・機関等の相互の連絡調整会議 ※再掲	4月27日 3月27日
熊本県立劇場役員候補者選考委員会	公益財団法人 熊本県立劇場	熊本県立劇場の役員候補者の検討会議 ※再掲	5月11日
地域創造「公立美術館 活性化事業企画検討委員会」	地域創造	全国の中小の地方公立美術館の企画力アップのための巡回展提案・審査・内容等の指導に関わる委員会 ※再掲	5月29日 1月30日 3月6日
中心市街地活性化連絡会議	熊本市市民会館、熊本市国際交流会館、熊本城ホール、熊本市文化政策課、誘致戦略課、市街地整備課	熊本市中心市街地にある市施設及び所管課の情報共有会議	6月3日 11月21日
熊本県立美術館 友の会	友の会世話人会 県下美術館	熊本県内の美術館の相互割引、年4回の広告物発送、友の会運営	—

(4)審査・表彰

タイトル	主催	内容	開催日
令和4年度心の輪を広げる作文・ポスターコンクール 審査・講評	熊本市障がい保健福祉課	誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」を目指し、障害や障害のある人に対する国民の理解と関心を深めること等を目的とした「障害者週間のポスター」審査、講評	9月5日
くまもと「描く力」チャレンジ部門 審査	熊本日日新聞社	熊本県を中心とした熊本日日新聞社主催の美術・デザインの公募展。一般部門、ふるさと部門、九州・沖縄エリア内の学校に通う高校生を対象とした部門の審査(日比野館長)	10月8日、9日
田山淳朗賞 高校生・中学生ファッション画コンテストin九州・沖縄 表彰	ヒロ・デザイン専門学校	熊本出身のファッションデザイナー田山淳朗氏による、中学生・高校生を対象にしたファッション画コンテスト	10月15日
第47回熊本県高等学校美術展 審査	熊本県高等学校文化連盟美術専門部 熊本県高等学校教育研究会美術、工芸部会	熊本県高等学校美術展の特別賞の一つとして「熊本市現代美術館賞」を選定	10月31日(審査) 11月6日(表彰式)
「VOCA2022 現代美術の展望-新しい平面の作家たち」推薦	VOCA展実行委員会	40才以下の平面作品の制作を行う現代作家の推薦を行うもの ※再掲	11月1日
令和4年度熊本市高校生消費者啓発ポスターコンテスト 審査・講評及び表彰	熊本市消費者センター	成人年齢引き下げに伴う、若者への消費者啓発の一環として行う、高校生を対象としたポスターコンテストの審査、講評及び表彰	11月3日(審査) 2月6日(表彰)
マナブ間部記念児童絵画作品展 審査・講評	宇城市不知火美術館	宇城市の1年生から6年生までのほぼ全児童が、図工の授業で書いた作品(約1,000点)の審査、講評	12月19日

(5)まちづくり協力

種別	連携先	内容	開催日	参加者
幸田まちづくりサロン	幸田まちづくりセンター	「ご用聞き」の一環として、住民とのワークショップに参加し、幸田のまちづくりについてのアドバイスを実施 ※再掲	8月19日	35人
2022上通アートプロジェクト「上通甘味手帖」	上通商栄会	OurAttitude展出品作家の松永健志が上通の名物スイーツを描き店内に飾るというプロジェクト。特集冊子の制作とスタンプラリーも併せて実施した。※再掲	9月17日-10月30日	-
第10回上通まちゼミ	上通商栄会	「PAPER: かみと現代美術」の見どころを紹介するレクチャーを実施。	11月3日	11人
幸田まちづくりサロン	幸田まちづくりセンター	「ご用聞き」の一環として、平成中央公園を住民とともに視察し、アイデアを出し合うワークショップに参加 ※再掲	11月19日	24人
上之裏通りブランディング	市街地整備課	上之裏通りの商店会による、通りのブランディングミーティングに参加。実際に通りを歩いてみてアドバイスを実施。※再掲	1月7日	9人
子飼商店街まちづくり	市街地整備課	子飼商店街に自ら入居し、まちづくりに取り組む若い世代とのブレインストーミングを実施。※再掲	2月12日	3人
			合計	82人

4 文化芸術活動を地域づくりや都市の活性化に繋げるための講演会等

(1) ワークショップ、シンポジウム、講演会等

種別	連携先	内容	開催日	参加者
熊本市長×現代美術館館長トーク	熊本市	テーマ「アートの子カラ」 政令指定都市移行から10年、市現代美術館の開館から20年の節目にあたり、「アートの子カラで何ができるか！」をテーマに対談。市政だより6月号(1-3ページに掲載) *大西一史熊本市長、日比野館長	4月12日	-
現代美術館館長の御用聞き in TSUTAYA三年坂店	ニューコ・ワン株式会社	街なかの書店や美術館の役割とは何か。日比野館長がTSUTAYA三年坂店のオープンスペースでご用聞きをで開催。*再掲 *野田順治蔦屋三年坂店館長、大嶋杏里蔦屋三年坂店スタッフ、日比野館長	7月1日	50人
開館20周年リニューアル	西澤徹夫建築事務所	熊本市現代美術館のフリースペースリニューアルを手掛けた西澤徹夫による館内ツアー	9月27日 10月12日	19人
「ART LAB MARKET」公開看板制作	-	開館20周年の開館記念日を祝して、日比野克彦館長がリニューアルオープンするショップ&コミュニティスペース「ART LAB MARKET」の窓に公開看板制作を実施	10月12日	-
マッチフラッグプロジェクト2022熊本 開催記念トーク	JFA	JFA田嶋幸三会長と、岡田武史元日本代表監督(JFA副会長)と日比野館長による、サッカーとアートについて、今年のワールドカップについてのトーク *再掲	11月3日	70人
公開座談会「御用聞き」1周年記念 目指すゴールはウェルビーイング!	文化政策課、政策企画課、幸田まちづくりセンター	この1年間で約10か所の訪問と対話を通じた「気付き」について、公開座談会の場で要点を検証し、参加者と共有する座談会 *再掲	12月10日	50人
KMW(熊本エデュケーションウィーク)フレンドリーオンライン誰一人取り残さない教育のかたち	熊本市教育委員会(フレンドリーオンライン)	フレンドリーオンラインにおける美術館連携ワークショップの事例報告を収録。映像は後日オンライン配信。 *芳野中学校、本荘小学校フレンドリーオンライン担当教諭6名、熊本市教育委員会主事、広島県教育委員会、坂本 *再掲	1月22日	-
KMW(熊本エデュケーションウィーク)子ども・地域・教育フォーラム	熊本市教育委員会(青少年育成課)	教育における地域の役割について、専門家や現場の職員が語るシンポジウムをALMで収録。映像は後日オンライン配信 *田中尚人熊本大学准教授、大畑伸幸島根県益田市教委社会教育課長、山川肖美広島修道大学教授、小原恵二青少年教育課班長、岩崎ち *再掲	1月27日	-
クラウドファンディングオンラインシンポジウム	READYFOR株式会社	博物館・美術館のファンディングを考えるシンポジウム「ミュージアム運営を変えるお金の潮流」セッション2「新しいに挑戦するミュージアム」収録。後日オンライン配信 *武井敏碌山美術館学芸員、岩崎ち *再掲	3月16日	300人
			合計	489人

【その他】

種別	対象	内容	開催日	参加者
所管課との打合せ	熊本市文化政策課	熊本市現代美術館指定管理料等に関する所管課との打合せ	5月26日 6月3日、15日 7月7日、28日 8月1日 10月24日 11月18日 12月2日、23日 1月12日、27日 3月1日、17日、31日	岩崎ち・岡田他
外郭団体担当課との打合せ	熊本市改革プロジェクト推進課 文化政策課	熊本市の外郭団体(当財団)の経営についての意見交換 所管課と財団の現状(カルテ)作成に向けての打合せ	12月20日 1月17日 3月30日	池田理事長、藤本常務理事、野中、岩崎ち・富澤・坂本・杉谷

(1)理事会、評議員会

種別	内容	開催日
理事会	熊本市現代美術館の運営方針等の協議・確認	6月9日、3月13日
評議員会	熊本市現代美術館の運営方針等の協議・確認	6月24日、3月14日

(2)助成金・補助金・支援金等

助成・補助・支援元	名称	対象	金額
熊本市	商店街活性化特別支援事業	上通アートプロジェクト2022「上通甘味手帖」	1,000,000円
日本芸術文化振興会	他分野共同等芸術創造活動	ひびのこづえ展	2,000,000円
公益財団法人 DNP 文化振興財団	グラフィック文化に関する学術研究助成B部門 (グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究)	坂口恭平日記	4,000,000円
一般財団法人地域創造	創造プログラム (企画制作力向上特別分)	坂口恭平日記	3,507,000円
日本財団	豊かな文化	アート鑑賞を通じた「社会的処方」のモデルづくり(坂口恭平日記)	13,080,000円
市民・地元企業他	クラウドファンディング (READYFOR)	開館20周年に向けたリニューアル 熊本市現代美術館の「これから」をつくる～アートでつながる交流拠点へ	12,528,000円
文化庁	Innovate MUSEUM	アートで解決する交流拠点プロジェクト	2,641,260円
合計			38,756,260円

(3)職員採用

概要	採用数/応募数
財団職員増員のため採用試験を実施。2023年4月1日から採用。	会計:1名採用/10名応募 学芸:1名採用/16名応募